

クロザリル患者モニタリングサービスにご登録された医療関係者のための情報誌

CPMS

ニュース

発行：ノバルティス ファーマ株式会社 CPMSセンター

Vol. 35  
2018  
Summer

木造六角灯台(旧酒田灯台)／山形県酒田市  
Photo: Masako Furuya

## Contents

### センターインフォメーション

- ・『CPMS検査日・隔週移行日・祝日早見表』リリースのご案内
- ・CPMSコーディネーター業務担当者の役割とお願い

### CPMSTピックス

- ・特集『血糖モニタリングと糖尿病内科医との連携』  
～医療法人如月会 若草病院の事例～

### クロザリル適正使用委員会事務局インフォメーション

- ・「震災等災害時のクロザリル処方について」に関して

### ご注意ください

- ・CPMS規定違反例

## センターインフォメーション

### 『CPMS 検査日・隔週移行日・祝日早見表』リリースのご案内

CPMS登録医療従事者の声から生まれたCPMSサポート資材、『CPMS 検査日・隔週移行日・祝日早見表』(Excel)をCPMSセンターWeb siteに掲載し、ダウンロードできるようになりましたのでご案内いたします。

#### ■ 概要と主機能

クロザリルの投与開始前に、検査スケジュールの見通しを立てるためのツールです。

「検査日早見表」シートに投与開始予定日を入力すると、その日を基準とした48週間後までの血液検査日が表示され、3週間後(条件付退院可能時期の目安)、18週間後(退院可能時期の目安)、26週間後(隔週検査移行時期の目安)の日付と曜日や、表示された血液検査日が長期休暇や祝祭日にあたるかを確認することができます。

#### ■ その他の機能

- 血糖・HbA1c検査予定日も表示させることができます
- 一般的な祝祭日だけでなく、独自の休診日等の情報も一覧に追加することが可能です
- 投与開始日から48週間後までの検査予定日一覧表としてプリントアウトすることができます
- 祝祭日の多い曜日を確認することができます

#### ■ 掲載ページ

CPMSセンターWeb site > CPMSサポート資材

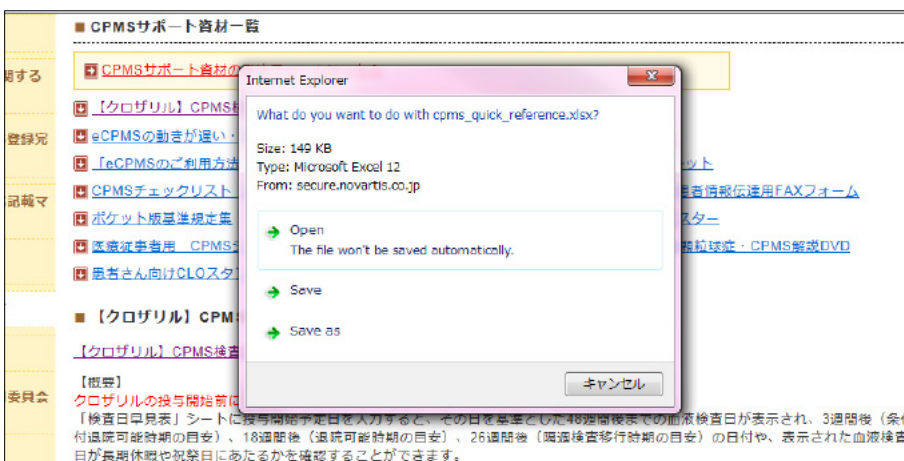
<https://secure.novartis.co.jp/info/cpms/material.html#quickReference>

■ CPMSセンター Web siteからのダウンロード方法



● CPMSセンターWeb siteへは、eCPMS機能選択メニュー画面左下リンクよりアクセスしてください。

● 『CPMSサポート資料』ページで、『【クロザリル】CPMS検査日・隔週移行日・検査日早見表(Excel)』をクリックします。



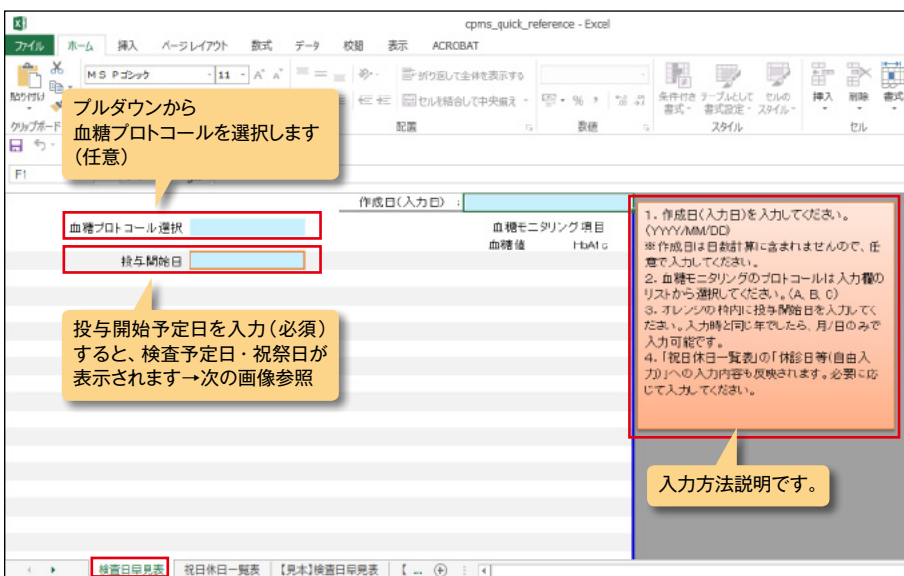
● いずれの方法でもご使用いただけます。

1. Open(開く)

→そのまま使用できます。入力して検査日一覧を表示した早見表は、Excelファイルとしてその後ご使用のPCに保存できます。

2. Save/Save as (保存/名前を付けて保存)

→PCにExcelファイルを保存してから開いて使用します。



● まず『検査日早見表』シートが開きます。右側の入力方法説明の通りご入力ください。



3週間後、18週間後、26週間後の日付欄がグリーンで表示されます。

検査日が祝日に該当する場合、検査日欄がオレンジ色になり、祝日の内容が表示されます。

●「投与開始日」欄に入力すると、その日付から48週間後までの検査予定日が一覧表示されます。

左図の例は、2018年9月3日月曜日に投与開始する場合の検査日一覧ですが、祝日に多く当たってしまい投与開始日に適さないことがわかります。(月曜日は祝日が多いため、検査日とすることを推奨していません)

曜日ごとの休日(祝日+任意の休日等)回数が表示されます。

●病院の休日等を追加する場合は『祝日休日一覧表』シートの『休日等(自由入力)』へ入力します。

●検査日早見表の表示結果を保存する場合はご利用のPCに保存します。保存しない場合はそのまま閉じます。

■ご使用にあたっての注意事項

- 投与開始時点から見た予定のみを表示させるものであり、表示される内容は1週間以上休薬せず常にグリーンであることが前提です。検査値の変動や休薬などにより実際の検査日は変動することにご留意ください。投与開始後に実際の検査でイエローになったり血糖プロトコールの変更があったりしても、その時点から早見表を修正する機能はありません。
- 早見表がどのように表示されるかは「【見本】検査日早見表」シートをご覧ください。また、それぞれのシートに入力方法説明が記載されています。
- 祝祭日は「祝日休日一覧表」に記載されている分まで表示されます。以降も検査予定日を表示させることはできますが、祝祭日情報は表示されません。
- 本バージョンでは2020年1月30日投与開始分まで祝祭日表示が対応しています。後日アップデート版をご提供させていただきます。



## CPMSコーディネート業務担当者の役割とお願い

CPMS不遵守やeCPMSの報告書に関する確認事項等があった場合に、CPMSセンターからCPMSコーディネート業務担当者へ電話連絡を行うことがあります。特定のCPMSコーディネート業務担当者だけが業務を行っているのではなく、大勢で持ち回りにしているご施設もあることから、通常、直近に送信された報告書の承認者であるCPMSコーディネート業務担当者へ連絡させていただきます(ご不在の場合は窓口として登録されているCPMSコーディネート業務担当者へ連絡することもあります)。

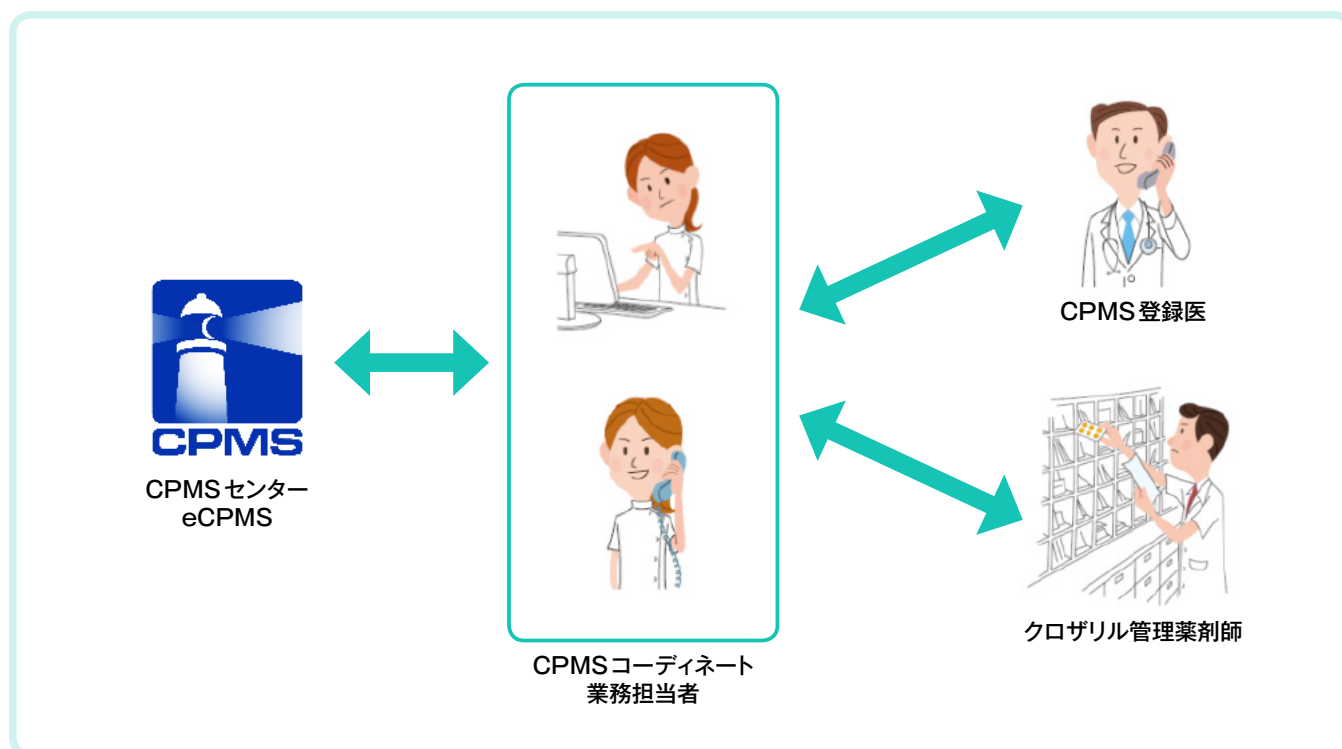
CPMSセンターからの通知や警告を受け、他のCPMS登録医療従事者へ必要な連絡を行うことはCPMSコーディネート業務担当者の大変重要な役割の1つです。CPMSの遵守状況等によってはCPMSセンターからの連絡が頻繁になる場合もありますが、改めましてご理解とご協力をお願い申し上げます。

仮に、CPMS不遵守のある報告書の送信者として警告を受け、eCPMS上『規定違反報告書数』の数字が表示された場合でも、個人の違反ということではなくご施設全体の違反数としてカウントされていますので、その点についてはご安心いただければ幸いです。

### <CPMSコーディネート業務担当者の役割>

- Web講習を受講し、本剤を適正に使用するように知識を習得する
- 『CPMS運用手順』を遵守し、本剤が適正に使用されていることを管理する
- CPMS規定に従った血液検査の実施を管理する(検査スケジュールの作成など)
- CPMSへの医療従事者、医療機関、患者などの登録業務の窓口となる
- 血液検査結果を確認し、CPMS規定に従い本剤が処方されていることを確認する
- 医療機関からCPMSセンターへ血液検査結果を採血日当日中に連絡する
- クロザリル管理薬剤師へCPMS規定に従い血液検査が行われたことを連絡する
- CPMSセンターからの通知・警告は、CPMSコーディネート業務担当者を通じて行われるため、CPMSセンターからのすべての通知・警告に関与し、登録された医療従事者へ必要な連絡を行う
- 有害事象発現に関する対応や患者の転院に関することなど、他科や他医療機関へのCPMSコーディネート業務を行う

<CPMS運用手順第4.2版より抜粋>



## 特集 血糖モニタリングと糖尿病内科医との連携 ～医療法人如月会 若草病院の事例～

本国のCPMSでは、血液モニタリング(白血球数・好中球数)だけでなく血糖モニタリングを行い、定期的な血糖値・HbA1cなどの検査を行うことが規定されています。

また、「糖尿病内科医との連携が可能であること」がCPMS登録医療機関およびCPMS登録通院医療機関の登録要件となっており、血糖モニタリングでは患者さんの検査値や症状に応じて適宜糖尿病内科医と相談し、特にプロトコールCの患者さんにおいては血糖検査毎にクロザリルの継続投与の妥当性などを検討することとなっています。

本国で最もCPMS登録患者数が多い宮崎県の若草病院(宮崎県宮崎市)では、どのように血糖モニタリングと糖尿病内科医との連携を行っているのでしょうか。

CPMS登録医の水野謙太郎医師(医療法人如月会理事長)、クロザリル管理薬剤師兼CPMSコーディネイト業務担当の水野和代薬剤師(薬局長)にお話をお聞きました。(以下、敬称略)



### 血糖モニタリングの有用性と課題 プロトコールCの運用の難しさ

**聞き手** 血糖モニタリングの有用性や必要性について、感じていらっしゃることを教えてください。

**水野(謙)** 糖尿病に移行する方を早期に発見でき、糖尿病の兆候がある患者さんに生活上の指導ができることは有用な点だと思います。当院のクロザリル投与中の患者さんの多くは外来通院されているので、ご自身やご家族で考えて適切な生活習慣を作っていく必要があります。血糖や体重、血圧などを必ず外来でチェックし、それらの結果を患者さんにフィードバックしながら生活習慣を見直すことができるので、健康的な習慣作りの指標のひとつとして血糖モニタリングが役立っています。

**聞き手** 血糖モニタリングにおける血糖およびHbA1c検査のスケジュールはどなたが管理されていますか。

**水野(謙)** 血液検査と同じように、CPMSコーディネイト業務を兼任している薬剤師の水野和代先生を中心に、調剤室でスケジュールを管理しています。

**水野(和)** eCPMSのデータを元に独自に予定表を作成し、各月毎に血糖検査日を管理しています。

**聞き手** 血糖モニタリングでご苦労をされている点はありますか？

**水野(和)** まず、当院のCPMS登録患者数が292例と多いので仕方がないことかもしれませんが、プロトコールCに移行する方が想像していた以上に多い点です。また、HbA1cをカレンダー上月に2回検査しないとならない場合、保険請求が認められないことがあります。

**水野(謙)** HbA1cの保険請求については各県で状況が異なるようです。日本精神神経学会から、CPMSで検査が決められているので、全国画一的にクロザリル使用に伴うHbA1cの保険請求を可能にすべきとの声明がクロザリル適正使用委員会宛に出されていますね。

**聞き手** 各県ごと、また審査員ごとに保険請求の状況は異なると聞いています。本件は医療従事者からのご意見を元にクロザリル適正使用委員会で検討が開始され、委員会から厚生労働省へ働きかけるために学会へ意見表明を求めました。現在も継続審議中です。

**水野(和)** そして、糖尿病ではない方が何らかの理由により検査で一度プロトコールCに該当してしまった場合、次回の検査で正常値に戻ったとしてもプロトコールCのままとなってしまいます(※1)。血糖値が上がる理由は様々なので、たった1度の検査でプロトコールCを判断するのではなく、例えば複数回検査を行った上でプロトコールを確定できるようにしてほしいです。

**聞き手** 貴重なご意見ありがとうございます。プロトコールC

のモニタリング内容についてはどうでしょうか。

**水野(謙)** 一般の糖尿病の患者さんと比較しても少し検査が過剰であると感じます。通常は医師の裁量で検査頻度を決めて行うものですが、CPMSで検査頻度が決まってしまうと検査しないわけにはいきません。

**聞き手** 日本神経精神薬理学会、日本臨床精神神経薬理学会、日本統合失調症学会の三学会からの要望書などを元に、ここ数年CPMSの内容が改めて検討されています。血糖モニタリングのプロトコールCについても、より実情に即したモニタリング内容を提案していきたいと考えます。

## 糖尿病内科医との連携によって 全例の血糖コントロールが可能に

**聞き手** 先程のお話の中で、プロトコールCに移行する患者さんが想像以上に多かったことについて言及されていましたが、貴院ではプロトコールCの患者さんはどのくらいの割合なのでしょう。

**水野(和)** 当院のCPMS登録患者292例のうち、プロトコールCの患者さんは85例で、全CPMS登録患者の29.1%です。クロザリル投与前からプロトコールCであった症例が19例、他のプロトコールからプロトコールCへ移行した症例が66例です。

**聞き手** 症例数が多い中で、プロトコールCの患者さんに対して糖尿病内科医とどのように連携し相談を行っているのでしょうか。

**水野(謙)** 当院は糖尿病内科医と院外連携を行っています。連携している糖尿病内科医は、当院の非常勤医師として月に1回当院へ来ていただくことになっています。当院で個々の患者さんのデータを確認してもらいアドバイスをいただいています。日頃の連携では、特にプロトコールCの患者さんの中でも血糖値・HbA1cが急激に変化している方についてアドバイスをいただいたり、経口血糖降下薬の副作用のモニタリングの指示をいただいて追加の検査を行ったりしています。

**聞き手** プロトコールCの患者さんのうち、糖尿病治療薬を服薬されている方はどれほどいらっしゃるものなのでしょうか。

**水野(和)** あまり多くはありません。

**水野(謙)** プロトコールCであっても運動療法や食事療法でコントロールできている方が多いです。糖尿病内科医と相談の上、HbA1cが7.0%を越えた場合は薬物療法の対象にしています。7.0%を越えない場合はまず生活指導により生活習慣の改善を行っていますので、全員に糖尿病治療薬を投与するわけではありません。

**聞き手** 生活指導に関して、糖尿病内科医からどのようなアドバイスをいただくのでしょうか。

**水野(謙)** 特に入院中のカロリー計算などを参考にさせていただいています。退院後のカロリー管理は患者さん主体で行って頂く必要がありますので、外来時に体重を見ながら患者さんご本人と食事内容の検討を行っています。学識がある患者さんは理解力もあり、糖尿病の怖さをよく理解できるようです。そのようなプロトコールCの患者さんの中には、生活指導だけで血糖をコントロールできた例や、服薬していた糖尿病治療薬を断薬できた例もあります。

**水野(和)** しっかり血糖コントロールできている患者さんはプロトコールCからプロトコールBの検査間隔に変更(※2)していますね。

**聞き手** クロザリル投与前からプロトコールCであった患者さんについて、投与開始後の血糖コントロールと糖尿病内科医との連携状況はいかがでしょうか。

**水野(謙)** 元々体重過多で不摂生による体重の増減が激しい患者さんは、血糖コントロールも大変です。とはいえ、生活指導と薬物療法によりHbA1cは7.0%台を保つことができ、クロザリルの投与を継続できています。

**水野(和)** やはり血糖検査値と体重に相関があるので、体重を重点的に管理するよう糖尿病内科医からアドバイスを受けながら治療を行っています。

**水野(謙)** 糖尿病内科医との連携によって、的確なアドバイスをいただき、どのプロトコールCの患者さんも良好に血糖コントロールできていると考えています。

## こんな場面でも糖尿病内科医の アドバイスが生きています

**聞き手** 耐糖能異常でクロザリルの投与を中止した症例はありますか。

**水野(謙)** 発熱で休薬し、フォローアップ検査中に血糖値の上昇が見られ、そのまま投与中止した症例はあります。糖尿病内科医に確認すると、発熱に伴ってインスリン分泌が一時的に減ってしまったことによる高血糖の可能性が指摘されました。発熱が収まった後、血糖値は上がらなかったため、クロザリルの投与を再開して現在も投与継続しています。耐糖能異常で投与を中止した後のフォローアップと投与再開の可否について、糖尿病内科医の知見がとても参考になりました。

**聞き手** クロザリル投与前だけでなく、投与中止後も糖尿病内科医との連携が役立っているのですね。プロトコールC症例以外で糖尿病内科医に相談することはあるのでしょうか。

**水野(謙)** クロザリルの投与開始前に、プロトコールCではないものの耐糖能異常が疑われる症例があった場合、前もって糖尿病内科医に投与開始予定をお伝えしています。投与開始後にプロトコールの変動などがあった場合にスムーズ



な連携を図れることを想定しています。

**聞き手** 糖尿病内科医と連携することの有用性や難しさなど、お考えをお聞かせください。

**水野(謙)** クロザリル治療中の患者さんのうち一定の割合がプロトコールCへ移行することを考えると、糖尿病のエキスパートとして精神科医よりはるかに糖尿病の知識を持っておられる糖尿病内科医に相談できる体制がしっかり整っていることは心強く大事なことだと思います。糖尿病内科医に相談した結果を患者さんの治療に生かすことができ、患者さんたちの生活が長期的に見て改善していくことが期待できます。一方で、何十例ものプロトコールCの患者さんに対して血糖検査毎に頻繁に糖尿病内科医と相談し、それによってクロザリルの投与ができなくなってしまうことがあると少し合理性に欠けるように思います。患者さんのリスクとベネフィットをよく検討しながら、今後も連携を行っていきたいと思います。

**聞き手** 本日はありがとうございました。

- 取材日(2018年8月17日)時点の情報です。
- 当記事に含まれる副作用情報には調査中のものも含まれており、最終的な報告と内容が異なる場合があります。最新の副作用情報についてはDR's Net「安全性情報」(<https://drs-net.novartis.co.jp/dr/products/product/clozaril/safety/>)をご覧ください。

#### 【関連FAQ】

(※1) [Q: 血糖値が回復したのにプロトコールCと表示されているのはなぜですか?](#)

(※2) [Q: 内科医との相談による検査間隔の変更\(手動\)](#)

その他の血糖モニタリングに関するFAQは[こちら](#)からご確認ください。



左から：水野謙太郎先生、水野和代先生

## クロザリルおよびCPMS関連Web site一覧

便利なWeb siteのURL一覧です。ご活用ください。また、ブラウザの「お気に入り」に登録すると簡単に閲覧ができます。

サイト名	URL
eCPMS (PostMaNet モニタリングサービス) *	<a href="https://m3.perceive-edc.jp/postmanetm/login/LogoutPage/logout.do">https://m3.perceive-edc.jp/postmanetm/login/LogoutPage/logout.do</a>
CPMS センター *	<a href="https://secure.novartis.co.jp/info/cpms/index.html">https://secure.novartis.co.jp/info/cpms/index.html</a>
CPMS 検査日変更に関する事前報告書 *	<a href="https://secure.novartis.co.jp/info/cpms/interval_download.html">https://secure.novartis.co.jp/info/cpms/interval_download.html</a>
CPMS・eCPMSに関するFAQ *	<a href="https://secure.novartis.co.jp/info/cpms/faq.html">https://secure.novartis.co.jp/info/cpms/faq.html</a>
CPMS ニュース *	<a href="https://secure.novartis.co.jp/info/cpms/news.html">https://secure.novartis.co.jp/info/cpms/news.html</a>
CPMS サポート資料 *	<a href="https://secure.novartis.co.jp/info/cpms/support.html">https://secure.novartis.co.jp/info/cpms/support.html</a>
CPMS サポート資料発注フォーム *	<a href="https://secure.novartis.co.jp/info/cpms/material/index.html">https://secure.novartis.co.jp/info/cpms/material/index.html</a>
CPMS 登録関係様式 登録変更用記載マニュアル *	<a href="https://secure.novartis.co.jp/info/cpms/manual.html">https://secure.novartis.co.jp/info/cpms/manual.html</a>
クロザリル適正使用委員会	<a href="http://www.clozaril-tekisei.jp/">http://www.clozaril-tekisei.jp/</a>
CPMS 運用手順／服薬同意書	<a href="http://www.clozaril-tekisei.jp/tejun.html">http://www.clozaril-tekisei.jp/tejun.html</a>
登録内容の変更手続き／講習会申し込み *	<a href="http://www.clozaril-tekisei.jp/jyouhou.html">http://www.clozaril-tekisei.jp/jyouhou.html</a>
様式8 (医療従事者の変更・削除) フォーム *	<a href="https://secure.novartis.co.jp/clozaril-tekisei_jyouhou/index.html">https://secure.novartis.co.jp/clozaril-tekisei_jyouhou/index.html</a>
クロザリル錠	<a href="http://www.clozaril.jp/index.html">http://www.clozaril.jp/index.html</a>
ご使用の患者さま	<a href="http://www.clozaril.jp/index.html">http://www.clozaril.jp/index.html</a>
医療関係者の皆さま	<a href="http://www.clozaril.jp/m_medical/index.html">http://www.clozaril.jp/m_medical/index.html</a>

※Web site内に掲載されているPDF様式は直接文字入力が可能です。  
 ※\*マークがついているものはCPMS登録医療従事者にのみお知らせしているWeb site・Web ページです。

## CPMS登録医療従事者の異動に伴うCPMS登録変更要請のお願い

いつもCPMS遵守にご協力いただきありがとうございます。CPMS登録医療従事者の所属医療機関の変更(ご異動やご退職)が生じる場合は、速やかにクロザリル適正使用委員会事務局に「CPMS登録変更要請書(様式8)」等をご提出いただき、CPMS登録情報の更新を行う必要がございます。CPMS登録情報に変更が生じるご本人様からのご提出がない場合は、代理の方にご提出のご協力をいただいております。お手数ではございますが、事前のご提出にご協力いただきますようお願いいたします。



### CPMS登録情報が更新されない場合の問題点

例えば、ご退職されすでにご施設に在籍していない医療従事者のCPMS登録情報が更新されないと、eCPMSからそのご施設の患者情報へアクセスができる状態が継続することになるため、個人情報保護の観点等から問題が生じる場合があります。したがって、速やかな変更要請をお願いしております。

必要な様式のご確認、記載方法は下記のページをご参照ください。

### ■ CPMS登録変更要請フォーム(様式8)・各種様式PDF

【クロザリル適正使用委員会Web site(一般公開なし)】 変更・削除に関する手続き／講習会申込  
<http://www.clozaril-tekisei.jp/jyouhou.html>

### ■ 状況別様式記載マニュアルや、提出方法に関するインフォメーション

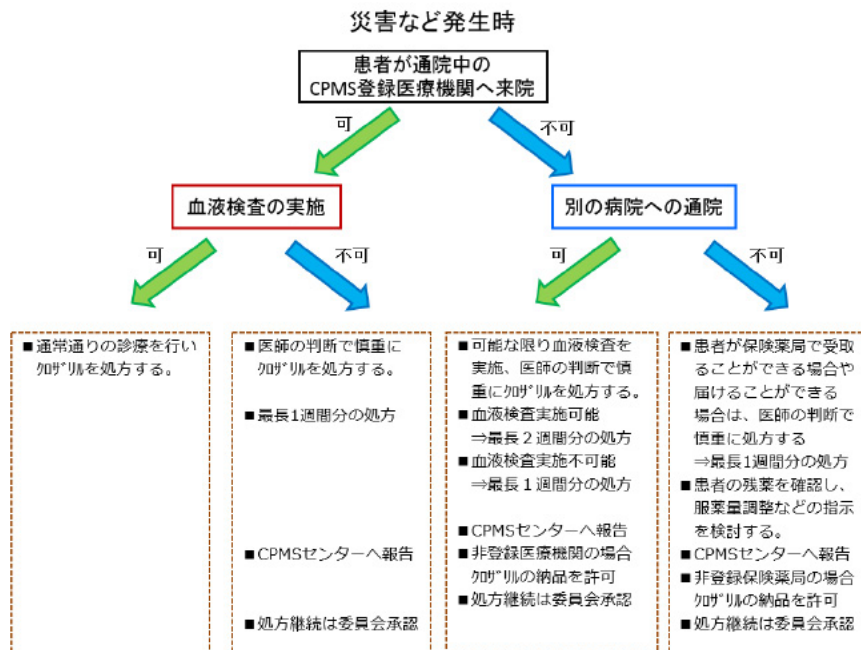
【CPMSセンターWeb site】 CPMS登録関係様式 登録変更用記載マニュアル(様式8他)  
<https://secure.novartis.co.jp/info/cpms/manual.html>



## 「震災等災害時のクロザリル処方について」に関して

クロザリル適正使用委員会では、大規模災害等を想定した対応マニュアルを用意しております。なお、この対応マニュアルは、第24回クロザリル適正使用委員会(2014年12月25日開催)で承認され、監督官庁へも報告済のものとなります。

災害など発生時の対応についてまとめておりますので、必要に応じてご確認・ご活用いただければ幸いです。



本マニュアルは、クロザリル適正使用委員会 Web siteの「委員会情報(CPMS登録通院医療機関ほか)」に掲載しております。



また、本マニュアルへの直接リンク先は以下の通りです。

【「震災等災害時のクロザリル処方について」のPDF ファイルリンク先】

[http://www.clozaril-tekisei.jp/shared/pdf/cpms\\_saigai.pdf](http://www.clozaril-tekisei.jp/shared/pdf/cpms_saigai.pdf)

本件に関してご不明な点等ございましたら、担当MRへお問い合わせいただくか、クロザリル適正使用委員会 Web site の「お問い合わせ」よりメールでお問い合わせください。

<http://www.clozaril-tekisei.jp/>

**CPMSセンターより****『震災等災害時のクロザリル処方について』に関する補足とこれまでの状況報告**

- 本対応マニュアルは、一過性の自然現象などに対して常に適用されるものではありません。例えば、台風などの天候の予測ができる場合は、来院日を早めて頂くなどまずは事前にご対応いただく必要があります。
- 『患者が通院中のCPMS登録医療機関へ来院→不可』の判断について、災害によりある程度、長期間来院の目処が立たない場合に適用されます。例えば、1日来院できないといった場合は、通常のように休薬としてご報告いただきます。非登録医療機関や非登録保険薬局へのクロザリルの納品を要請された場合も、納品まで数日程度の時間を要することも予想されますので、そのような場合も休薬や用量の調節を指示する必要があります。
- 2018年8月末までに、当該マニュアルにおける『患者が通院中の医療機関へ来院できるが血液検査の実施ができない場合』『患者が通院中の医療機関へ来院できない場合』が適用になった事例はありませんでした。2018年9月北海道胆振東部地震において、停電により血液検査が実施できず『患者が通院中の医療機関へ来院できるが血液検査の実施ができない場合』が適用となった事例が4施設で合計6例ありましたが、『患者が通院中の医療機関へ来院できない場合』が適用となる事例はありませんでした。

## ご注意ください — CPMS 規定不遵守例 —

2018年1月1日から2018年8月31日までに報告があった事例を紹介させていただきます。

※クロザリル適正使用委員会との協議により、2013年まで累積数にて報告してきたCPMS規定違反数について、2014年から単年度ごとの報告とすることになりました。

### 登録数

登録医療機関数：486施設 登録患者数：7,348人

### CPMS 規定違反・警告内容

#### 【検査未実施：12件】

規定の間隔以内に検査を実施しなかった。

#### 【報告遅延：230件】

検査は実施していたが報告が遅れてしまった。

#### 【血糖モニタリングの警告：8件】

血糖・HbA1c未実施。

#### 【その他：0件】

## 報告遅延を防ぐために

### ポイント①

血液検査結果は、採血当日中(24時まで)にeCPMSで報告書を作成し送信してください。規定どおりの検査間隔で検査を行っていても、検査実施日より後の日に報告を行った場合は、報告遅延となりますのでご注意ください。

- 採血日＝検査実施日＝報告書送信日 となるようにしてください。
- 処方検査実施日より後の日に行う場合も、血液検査結果は検査実施日当日中に報告書に入力し送信してください。
- 次回検査期限より前に検査を行った場合も、血液検査結果は検査実施日当日中に報告書に入力し送信してください。  
CPMS規定による検査以外にイレギュラーに検査を行った場合の報告については、特に必須ではありませんが、送信する場合は検査実施日当日中をお願いします。
- 初回報告書のみ、投与開始日の10日前までの検査結果を使用することができます。

### ポイント②

eCPMSによる検査報告は、処方ごとではなく規定の検査ごとに行ってください。

- 検査実施日ではない日にクロザリルの増量を行うなど処方に変更があった場合は、eCPMSで報告する必要はありません。
- 今回の検査実施日から次回検査予定日までの間に処方変更の予定がある場合、処方欄の「今回の投与量」には、今回の処方の初日の用量をご入力ください。
- 投与中止(血液検査結果以外の理由)・休業後も、4週間はそれまでの検査間隔でフォローアップ検査と報告が必要です。

### eCPMSにおけるCPMS規定違反数の表示について

クロザリル適正使用委員会との協議により、2011年より注意喚起のためにeCPMSに表示されるCPMS規定違反数の表示時期が変わりました。表示が消えても違反数にはカウントされ、厚生労働省などの規制当局やクロザリル適正使用委員会への報告対象となります。患者さまの安全性確保のため、引き続きCPMS規定の遵守をよろしくお願いいたします。

## CPMS サポート資料の発注・ご意見・ご要望・CPMS ニュース表紙の灯台写真を受付中です

### 【CPMS サポート資料発注方法】

- ① Webフォームで発注：「[こちら](#)」をクリック(詳細は[CPMSセンターニュースVol.19](#)、P5をご参照ください。)
- ② E-mailで発注：「医療機関名・所属科名・氏名・希望の資料名・部数」を記載し[cpms.japan@novartis.com](mailto:cpms.japan@novartis.com)に送信  
※ 資料一覧は「[こちら](#)」をクリック(CPMSセンターWeb site「CPMSサポート資料」をご参照ください。)

### 【ご意見・ご要望・灯台写真】

上記E-mail(CPMSセンター)宛にお送りください。お送りいただいた灯台写真を紙面に使用させていただく際には、ご連絡させていただきます。お送りいただいた写真が規格に合わない場合は使用させていただくことができませんが、ご了承ください。

登録医療機関

**486施設**

2018年8月31日現在

公表医療機関

**464施設**

2018年8月31日現在

患者登録済み

**409施設**

2018年8月31日現在

登録患者

**7,348人**

2018年8月31日現在

登録医療従事者

**14,755人**

2018年8月31日現在

※「登録患者」はCPMSセンターの集計、その他はクロザリル適正使用委員会Web siteより引用しています。

<http://www.clozaril-tekisei.jp/iryokikan.html>



ノバルティス ファーマ株式会社 CPMSセンター

〒105-6333 東京都港区虎ノ門1-23-1 虎ノ門ヒルズ森タワー

お問い合わせ先：0120-977-327 (9:00~17:45 土・日・祝日、当社休日を除く)

※内容を正確に把握し、回答および対応の質の維持・向上のため通話を録音させていただきます。

eCPMS (PostMaNetモニタリングサービス) : <https://m3.perceive-edc.jp/postmanetm/>

CPMS00010PU(0035)

2018年9月作成